

アズール BURST!
アズール



R-18
FOR ADULT ONLY
PRESENTED
BY
RIBI堂

まったくアイドルJKは最高だぜ……!



※発情中。

鷺沢さんと書齋でイチャヌプ。

美嘉と汗だくセックス。

クリスマスの時の髪型がかわいかったのと
しぶりんの制服夏バージョンがかわいかったので
合わせてみた結果↓



鷺沢さんと休暇。

わあ…
これはすごいですね
書庫の5階の図書室の机かな…

だろ？ 俺も話には聞いてたけど…
最初見た時は驚いたよ

プロデューサーさんのお知り合い…？なんですよ

ああ
中学の同級生でね

昔からそいつも趣味で本を読んだり
集めたりつてヤツだったから
この前久々にあった時に文香の話をしたら
いつか連れてくればいって言うてくれて…

そう…でしたか
ありがとうございます



せつかくオフで二人きりなのに...





んふあつ…
ほーれ文香の
せいでキンキン
だぞお



押し付けないでくだ…っ
んちゅっ



おじやまします

えっ
しいあ…っ
ダメです…っ

もぎ
もぎ…



おやおや
ちよっどじわっどじわっ…

んっ!!

んっ

んは…
文香は日なキスすると
すぐこうなるよね



うう…
ち 違います…んっ

んっ

強がっちゃってます…

ふー！

こんな…っ本にかこまれた中で…
なんだかすぐくいけないことを
しているような…

ん…っ
ああ ダメなのに
なんだか…っ

はいパンツ侵入…っ
うわあ ドロドロだあ

いやいや さすがに
これは…っ
何言っても説得力ないよ

う ウソですう…ん

中もすっごくアツク
なってるぞお ハツハ



ほ ホントに…
こっでいのままするんです…か

ああ… するよ最後まで…
こんなエロい文香見ちゃったたら…

んっ…んっ…ふうん…
あ…



わ 私のせい…っじゃ

あがうい

んっ…

…まったくこんなに
濡らして…っ♪
あーだこーだいつて
エロいんだからっ

俺の…こんな簡単に…
飲み込んで…っ

んっ…

あがうい
あがうい

んっ…っ！ あっ 入っちゃっ

ほおら日なおつゆまみれの
文香まんこに入れるぞお…っ

ああ ダメ…っ





うおおお
ふみ…かあ

ジャストフィットオオオ

いいからいいからっ
ああ キモチいっ
はあはあっ

あっ もうっ

強引すぎで…すっ



ダメれすよあ…

こんな…っ

こんなまんこの状態で
いわれてもな…っ

もうジユクジユクじゃないかあっ
これもこれまでの
はあはあ (笑)
成果だな…!!



いつ いちいち
言わなくて...
いいですう...う

ぽん

あー
がく
あー
あー

あー
がく

あー
あー
あー



はあく なんかちんこの先から
溶け出しそうだ...う

あ もう出るかも...う
この頃無沙汰だったし

はあ...
文香のただ濡れまんこ
すごく...気持ちいいぞう
ふんふん

ええっ?!



ほ 本にかけちゃ
ダメですからあつ

心配するの
そこののか...う

あー
あー
あー

そっか…っ
じゃあ

あーっ
あーっ
あーっ

ホントはダメ
です…けどお

中に出すしか
ないなあ…っ

あーっ
あーっ

あーっ!!

あーっ!!

この場合…っ
あうっ

うあつムリムリ
射精ちやうからっ

ああでも出来れば外に
射精してくだ…さっ

もオヤン

もオヤン

あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!



お 終わりますよ...?..
プロフェッサーか...?

ん？

ん...

ん...

ん...
ん...
ん...

ん...

ん...



今日の文香見てたら
まだおさまらないみたい
ほらほら

ん...
ん...
ん...

ひえ...っ //



これ以上...されたら...
私...どうにかなって...

ん...

今日はもう...
止めませんか...っ

ん...

ん...

ん...

もつと文香の中を俺のちんぽに
なじませたいしな...っとお!
はあたまがらんっ

ふわあー...っ
どろどろのふにやふにやで
これでも気持ちいいけど

ん...

ん...



ちよっ あっ は話
聞いてくださっ はああんっ //

ん...
ん...
ん...

日なおつゆまみれで
気持ちいいぞお…っ

んっんっ

おっおっ

つながっているよ…熱い…

また またおかし…っ

がくっがくっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

こなれてさっつきよりも
深く入ってる感…っ

おっおっ

いいよ
文香もノってきたね…っ

頭がぼーっとしちや…っ

おっおっ

おっおっ

おっおっ



おっおっ

おっおっ

おっおっ

んっんっ

おっおっ

おっおっ



うわーっ
うわーっ
うわーっ

もっと聞かせて 文香！
もっと聞かせて 文香！

ええっ？

文香の身体は
どこも柔らかくて
たまらん……っ

文香の目な声っ！
聞かせて ほら！
ほら！

それは やっ！あっ



ほらまたいくよ……っ！
文香の一番奥に……っ
子宮口めがけてっ

出すよっ

俺の精子……っ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ



——ライブ終了後
某ホテルにて——

いやあ 今日のライブ
最高に盛り上がったなあ

セクシー☆

うっふふふ
ごしゅー 新調した
衣装のおかげかもね

あ 莉嘉？
うん 今日 遅くなるから…

ただなあ… なんかどんどん
露出上がってないか…？

上の意向ってのもあるし
一応OKは出してるけど…嫌なら…

…

まあアタシも好きでやってるし
ファンも喜んでくれてるから
いいんじゃない？

うーむ…

…そりゃファンに喜んでもらって
なんぼだしな…わかつちやいるけどな

どーしたの？ ファンにヤキモチ？

いやほらなんとというか
こう…モヤつとするとというか…

でもね…

『城ヶ崎美嘉』を
独りよめできるのは…

ク
ク
ク

ア
タ
シ
の
ハ
ル
マ

プロデューサー
ただだよ

美嘉…

おりゃーっ!

おわっ

細かいことは置いてさ...
今はアタシだけ見てればイイよ



プロデューサーの
顔じゃっ

あ...っ

あ...っ

さつきがらこんなに
なっちやっこんだよ...っ



そうだな...美嘉のここに
入れるのは...っ

俺だけ...なんだよなっ

そうだよ...っ
プロデューサー
専用なんだから

あ...っ

ちゃんとおちんちんで
世話してくれないと...っ

ん...っ

あ...っ
えへへ...っ

ううう美嘉あ...っ



あ...っ



はいっ

ビュッ

はあ...っ！俺も美嘉の中に早く...っ！っ！っ！

あ〜ぴったり吸い付く感じで最高だあ...っ！っ！っ！



アハハハ〜っ！っ！っ！
キムン〜っ！っ！っ！

ゼクッ！！

チヨッ...

なんかもう切なくて

これが...
欲しかったのお...っ



これ以上の大きいのも
小さいのもイヤ...っ！

アハハ

アタシの...もうすっから
アロテユーサーの
形になってるみたい

セッ！！

セッ！！

プロデューサーの
じゃなみせ…っ

じゃなみせ!

じゃなみせ

じゃなみせ

じゃなみせ

じゃなみせ

じゃなみせ

もう…ちゃんと感じれない
カラダにされちゃって…っ

ああ…幸せっ



「プロデューサーのちんちんハメてる時が
一番ときめいちやうです…っ」

こんな感覚忘れるの
ゼツタイ無理だからっ

じゃなみせ

…責任と…っよね…っ

じゃなみせ

ああ そのつもり…だよっ

やったあ☆じゃあ頑張つて
プロデューサーのおちんちん…っ

じゃなみせ

じゃなみせ

じゃなみせ

っ…いあげる…っねっ!





俺だけの...っ
アイドル肌まんこ最高...っ

びん
はっ
どっ
はっ
どっ

アッ! アッ!

この格好も…すごい
恥ずかしかったけど…っ

なんかアタシのツボに入る感じで…っ

最近 すっごく気持ちよくなってヤバ…っ

プロデューサーの
カタさもなんか違う気がするんだよね…っ

アッ! アッ!
アッ! アッ!
アッ! アッ!
アッ! アッ!
アッ! アッ!
アッ! アッ!

アッ! アッ!
アッ! アッ!
アッ! アッ!
アッ! アッ!
アッ! アッ!
アッ! アッ!

ああイク…っ
膣内イキってやつは
超キモチイイ…っ

アッ!

アッ!



…プロデューサーの精子…
全部アタシに出して…っ



あへあ…んっ
お腹あつたかあい…っ



最後の一滴まで…
だ…すぞおっ





はぁ... もう今日は...
泊まりだね

あ ああ...
さすがにな...

はぁ...

はぁ...

はぁ...

はぁ...

『アイドルJKハメプリズン2014』

pixiv:51076
Twitter:higata88

発行:RIBI堂
代表:陽方晶月

発行日:2014/08/17
印刷所:スズトウシャドウ様

連絡先:
ss4001.sg@gmail.com

ブログ:<http://higata.blog50.fc2.com/>
未成年閲覧購入禁止
無断転載WEBアップロード禁止



このまま明日
一緒に出勤しちゃおう...?

ぼぼか...何言って

アハハ
ギーンねん☆

Athens, and that
where she lived
could not be put
against Hermia (this
extending beyond the
aries of the city), he pro
to Hermia that she
d steal out of her father's
that night, and go with
his aunt's house, where
uld marry her. "I will
you," said Lysander, "in
ood a few miles without
ty ; in that delightful
where we have been
d with Helena
ant month of May
s proposal He
greed ; and she
her intended flight but
end Helena.

ther's command, moved
e stern Egeus.
us, though a great and
ful prince, had no power
er the laws of his country
efore he could only give
ia four days to consider of
d at the end of that time,
still refused to marry De
as, she was to be put to
Hermia was dismissed
he presence of the duke,
ent to her lover Lysander,
ld him the peril she was
d that she must either
im up and marry Deme
or lose her life in four

pened, (this
agreement ; they now
moonlight in the shady walks
of this pleasant wood, but they
were quarrelling, till all their
fairy elves would creep into
acorn cups and hide themselves
for fear.
The cause of this unhappy dis
agreement was Titania's refus
ing to give Oberon a little
changeling boy, whose mother
had been Titania's friend ; and
upon which the fairy queen
had hid from its eyes
an infant which the king
of the fairies had stolen from
Oberon attended by his

ens will do
ings for love) very un
resolved to go and
tell this to Demetrius, though
she could hope no benefit from
betraying her friend's secret,
but that poor pleasure of fol
lowing her faithless lover to
the wood ; for she well knew
that Demetrius would go thith
er in pursuit of Hermia.
The wood, in which Lysander
and Hermia proposed to meet
was the favourite haunt of
those little beings known by
the name of Fairies.
Oberon the king of the fairies,
the queen of the fairies, w

ne was
Athens
daughter
had com
metrius,
noble Ath
to obey hi
another y
named Ly
manded j
desired th
might be
his daugh
Hermia p
her disol
trius had
love for h
and that
trius to d
beo-arab
There wa
Athens w
zens the p
their daug
whomsoev
upon a da
marry the
chosen to
father
lay
daug
n daug
factory
season or
tion, thou
ladies of t

JK BURST!

JK BURST!

PRESENTED
BY
RIBI堂

FOR ADULT ONLY
R-18